

2011年(平成23年)5月25日 水曜日

企業間のCO<sub>2</sub>排出権

持永木材(都城)が売却

ファンド活用、益金寄付

木材加工の持永木材(都城

市、持永宏一社長)は、企業

間のCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)排出

権を売買する「国内クレジット

制度」を活用し、総合小売

のイズミヤ(大阪市西成区、

坂田俊博社長)に排出権を売

却した。今回は、同制度の仲

介を手掛けるFTカーボン

(東京)が一次購入者とな

り、イズミヤに排出権を転

売。FTカーボンが創設した

「宮崎応援カーボンファン

ド」を通じ、転売益23万円は

県に寄付される。

同ファンドは、排出権の転

売による益金を口蹄疫や新

燃岳被害の復興支援に充てる

ため、3月に同社が創設し

た。

同社によると、持永木材

は、事業過程で排出されるC

O<sub>2</sub>削減に力を入れており、木

材の乾燥過程で使用するボイ

ラーを、A重油を燃料とする

ものから、木質バイオマスボ

イラーに変更。これにより年

間で1647トンのCO<sub>2</sub>削減が

見込まれる。

今回の排出権の取り引きに

ついては、同ファンドに参画

する宮崎銀行(小池光一頭

取)が、同木材とFTカーボ

ンとのマッチングを手掛け

た。

同行営業統括課は「今回の

事例をきっかけに、CO<sub>2</sub>削減

への県内企業の意識が高まれ

ば」と話している。